

噴火の種類

説明

ブルカノ式噴火

大きな音とともに爆発的な噴火をします。粘り気の強い溶岩の火山でよく見られます。爆発のときの空気の振動でガラスが割れることもあります。



日本に多いタイプの火山で、写真の桜島では1年で何百回も爆発しています。



桜島(鹿児島県)

説明

プリニー式噴火

この噴火も爆発的な噴火ですが、プリニー式噴火では柱のように立ちのぼる噴煙が何時間も続きます。大量の軽石とともに、噴煙を上空高く噴き上げるのがとくちょうです。



イタリアの古代のポンペイという町は、ベスピオという火山がこの噴火をして全滅してしまいました。



ピナツボ火山(フィリピン)
(米国地質調査所)

噴火の種類

説明

ストロンボリ式噴火

溶岩を噴き上げては止まることを繰り返さず噴火です。1970～1971年の秋田駒ヶ岳の噴火では、爆発を繰り返して溶岩が流れ出ました。



この名前はイタリアにある火山からきています。



阿蘇山中岳火口(熊本県)

説明

ハワイ式噴火

溶岩がおだやかに噴き出して、だらだらと流れ出すタイプの噴火です。噴水のように噴き出る溶岩が、川のように流れていきます。粘り気の少ない溶岩の火山にみられます。



溶岩の粘り気が少ないので、サラサラと流れやすいです。



キラウエア火山(ハワイ)
(米国地質調査所)

噴火の種類

1 噴火の種類とその理由

火山の噴火の種類に関係があるのは次のうちのどれでしょうか。①～③から選んでください。

- ① ようがん 溶岩の色に関係がある
- ② ねば 溶岩の粘り気に関係がある
- ③ 溶岩の水分に関係がある

2 日本で多い噴火の種類

日本で多い噴火の種類はどれでしょうか。①～③から選んでください。

- ① プリニー式噴火
- ② ハワイ式噴火
- ③ ブルカノ式噴火



日本ではようがん 溶岩のねば 粘り気が強い火山が多いです。